



第44回卒業証書授与式

3月1日(月)に第44回卒業証書授与式を挙行了ました。
暖かな日差しの中、197名の生徒が新たな旅路への一歩を踏み出しました。



校長先生より

式後には、スライド上映(制作・卒業生)を行いました。

去る3月1日(月)に令和2年度第44回卒業証書授与式を挙行し、197名の卒業生が向陽高校から旅立っていきました。高校生活の最終年度を新型コロナウイルス感染症対策の中で過ごさざるを得なかった卒業生にとっては、言葉に尽くせない悔しさを感じた1年間であったことでしょう。しかしながら、困難な学校生活を送ることにより、逆に学校で授業を受けることの意味や、仲間と共に部活動に打ち込むことができるありがたさ、様々な学校行事から得られる価値を感じることができたのではないのでしょうか。

卒業にあたり、私からは賤の言葉として、「論語」の一節から「学ばざれば則ち罔(くら)し、思いて学ばざれば則ち殆(あやう)し」を贈りました。これは、本を読むときも人の話を聞くとときも、その内容を鵜呑みにするのではなく、自分の頭でもう一度考えてみる必要がある。また、逆に自分の頭で考えるだけで、広く他人の知識や経験を学ぼうとしないと独りよがりな考え方に陥ることになってしまうことを説いた言葉です。在校生の皆さんにも心がけてほしい教えます。

校長 遠山 秀史

向陽講座

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年よりも実施回数が少なくなっていました。それでも、「バドミントン」「バレーボール」「バスケットボール」「書道教室」の各講座を開催することができ、総勢70名の参加がありました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

施設の新設・改修について

- ① 地歴公民講義室にエアコンを設置しました。(冷房も入るようになりました) 【写真1】
- ② 体育館横の屋外トイレを改修しました。(便器の洋式化(暖房便座)・手洗い自動水栓化・換気扇新設・蛍光灯のLED化・天井再塗装を行いました) 【写真2・3】



写真1



写真2



写真3

学年部より

これまで経験したことのない1年が過ぎました。これまで当たり前に行われていた部活動や文化祭などの中止や制限に耐える日々に、どこか物足りなさを感じた人もいないのでしょうか。

ですが、私たち人間には、辛いことを乗り越える力があります。その経験が私たちを大きく成長させてくれます。十年前の東日本大震災の後にも、日本は世界各国の支援を受けながら、復興を進め、確実に様々な分野で発展を遂げてきました。ぜひ皆さんにはこのコロナ禍の辛さを乗り越え、明るい未来を創り出せる人物に成長して欲しいと思います。

そのための次の一歩となる、2年生の一年間をまずは大切に過ごしていきましょう。

第1学年部 部長 乙野 勇太

1学期は新型コロナウイルス感染症で自宅待機期間から始まり、多くの行事が中止になり、これまでの日常とは全く違う生活を送らなければならない1年間でした。

そのような制限のかかる中で実施された遠足や体育祭、みんながソーシャルディスタンスのルールを守ってがんばっている姿が大変印象的でした。

4月からは最終学年となります。実りのある年となるよう、次の1年を全力で取り組んでほしいと思います。努力することを惜しまず学習に部活動に全力で取り組んで行こう。

未来の自分に向かってホップ、ステップ、スクワットジャンプ!!!

第2学年部 部長 千代 恭司



新年度予定等は、決定次第HPに掲載しますので、御覧下さい。
<http://www.kyoto-be.ne.jp/kouyou-hs/>



新年度学校メルマガ登録希望メール送信先：kouyou-mail0@kyoto-be.ne.jp